



令和2年度を終えるにあたって

令和2年度も終わりが近づきました。新型コロナウイルスの感染防止のため、新学期が始まってすぐに臨時休業、これが5月いっぱいまで続きました。だれもが予想しなかった事態となりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには大変ご心配、ご迷惑をおかけいたしました。

2ヶ月分の授業を取り戻すために、遠足、スポーツテスト、音楽会、書道展、絵画展、集団宿泊教室、見学旅行など多くの行事を取りやめたり縮小したりして授業時間を確保し、今年度終わらせておかなければならない教育課程を無事に終了することができました。残念ながら、反復練習やドリルに取り組む時間がすこし足りませんでした。ご家庭で丸付けをしていただいたり、音読を聞いたもらったり、宿題にコメントを書いてもらったり、多くのご支援ご協力をいただきました。ほんとうにありがとうございました。

このコロナ禍の中で、マスクが当たり前となり、学校生活が大きく変わりました。オンラインで教室を結び、始業式や修了式、児童集会といった校内行事ばかりではなく、町人権子ども集会の時のように菊陽町のすべての学校とオンラインでつながっていくこともありました。6年生は東京の厚生労働省の医務技監（全国で一人しかいない方）ともつながり、大人になっても学び続けることの大切さについて講演をしていただきました。オンラインならではのつながりも経験できました。

コロナ禍ではありませんが、保護者の皆様、地域の皆さまのおかげで、何とか令和2年度を終えることができそうです。まだまだ、新型コロナウイルスの脅威はありますが、菊陽北小学校職員一同で子どもたちを育てていきたいと思っております。ありがとうございました。

学校運営協議会の皆さんから

本来であれば、学校運営協議会を開き、協議会の皆さまに学校にお越しいただき、学校の様子を見て、ご意見をいただくところでしたかったが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催できませんでした。このため、12月に行った学校評価アンケートの結果を学校運営協議会の皆さまに報告し、ご意見をいただきました。

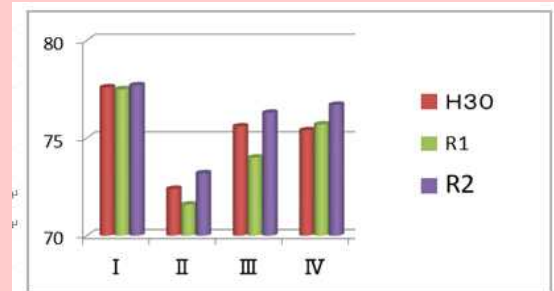


学校運営協議会の皆さん

菊陽北小学校学校運営協議会での意見

- 何かあった場合、学校がすぐに対応しているため、地域住民としては安心している。
 - 近年、いじめ問題が増えているが、原因としてアンケートにも表れているように教師、保護者、児童との連携がとれていないように感じる。お互いを思いやる心が必要ではないか。教師、保護者、児童お互いによく話し合い理解を深めることが必要であると感じます。
 - 北小学校のいろいろな取組が分かりやすいと思いました。子どもたちも環境が変わり、学校生活に支障があったと思いますが、いろいろな体験をし、子どもたちも将来役に立っていくと思います。
 - 最近、朝の見守りの時に以前より挨拶をしてくれるようになり、大変嬉しく思っています。
 - 児童と保護者及び教師との差を解消する方法と並びに保護者と教師の差を解消するように努める。
 - これからの社会を担う子どもたちに基本的な①生命を大切にすること、②人様に思いやりのある心、③挨拶や返事をする心、④社会のルール、マナーを守る心、⑤命の尊さを大切にすることなどを学んでほしいです。
 - 地域とともに学校づくり……今後も校区探検や史跡写生等の学習時に地域人財を活用して、各区の行事に参加しながら、ふるさとを学ばせて下さい。私達、地域住民も協力します。地域の活性化のために頑張らしましょう。
 - それぞれの項目で上向きの評価がなされていて、先生方の努力と思われまます。
 - 仲間づくり・教育環境では、高ポイントで児童の楽しい学校生活がうかがえます。
 - 子どもたちの命を守るための交通指導など含めた安全指導、また、いじめ防止・挨拶などの生活指導は、学校と家庭、地域の連携が大切だと思います。引き続き、地域の私達も見守っていきたいと思います。
 - 学力の向上アップはこれから力を入れていただいて、読書環境も整えて子どもたちが本に触れる機会を増やして欲しいと思います。子どもたちは地域の宝、未来の宝です。
 - コロナ禍の中、菊陽北小学校はとて地域の方々との交流、学習について努力されていた。
- 協議会の皆さまたくさんのご意見ありがとうございました。人権教育を大切にしながら、安心安全な学校づくり、子どもたちの学力向上にさらに努めてまいります。次年度もよろしくお願いいたします。

学校評価の概要



【大項目】

- I：心豊かでたくましい子どもの育成
- II：学習指導の充実と学力の向上
- III：人権教育の推進
- IV：地域とともにある学校づくり

学校評価全体の傾向

「心豊かでたくましい子どもの育成」の得点が最も高く、「学習指導の充実と学力の向上」が最も低い。3年間同じ傾向にあるが「人権教育の推進」の伸びが大きい。